

初顔合わせと神棚参り～1月1日～

元旦の午前は入居者様が1階に集まり新年恒例の初顔合わせがありました。2階の方が降りてこられると「明けましておめでとうございます」と挨拶の声が聞こえてきます。「年明けたの？知らなかつた！」と帰つて来る返事に花のお正月らしい雰囲気が感じられます。皆さん揃つたところで施設長を先頭に二礼二拍手一礼を行い神様に無病息災をお祈りしました。そして施設長から「元気にな生きましょう」と話があり、お神酒を降ろして皆さん乾杯をして交流会が始まりました。金粉入りのお酒に「景気良いねハハハ！」、「すごいねー！」と驚かれ、年賀状に「私の娘たちから来ているの…」と涙を流されたり、「なんか書いてある」と言い真剣に読まれたり、周りの方とも和やかに話をしたりして過ごし、気持ちの良い年初めとなりました。皆さんにとって良い一年となりますように！



お誕生日おめでとうございます

さん

86歳のお誕生日
皆さんのお祝いの声掛けに「有難うございます！」としっかりお礼を言われていました。ケーキのローソクの火を「あーやつと吹き消せたわ！」と嬉しそうに話され、ご家族様からのお祝いのお手紙を読んでさしあげると「嬉しくて涙が出ちゃう！」と感極まっていました。プレゼントも大喜びされていました。



花のお正月 [1月1～3日]



花のお正月三箇日は、皆さん毎日楽しく過ごされました。スタッフは特に料理に力を入れています。元旦は、お節を作り召し上がっていただきました。「とっても美味しいでーす！」と明るい声も帰ってきます。スタッフが「お節食べて長生きしてくださいよ」と勧めると、食のあまり進まない方も「うーん」と返事があり、時間がかかりながらも全部召し上がられていきました。色々食べて「明日もごちそうなの？期待しています。」とプレッシャーもあります。生ちらしがあった



がとれなくなり住んでいたところに戻ることが出来なくなるリスクがあります。感染による職員の極端な人員不足も気になります。厚労省からの安心できる推進策が出ることを期待しているところです。

鷹栖神社へお参り…1月5日(木)…



元気な方や希望者をお誘いして鷹栖神社にお参りに行ってまいりました。雪がちらつく中でも久しぶりの外出に皆さん嬉しそうです。車から降りて少し歩き社の前に立つと「大きな音鳴るねー」と鐘を鳴らしていました。そして手を合わせ真剣にお祈りされました。何を祈ったのかをお聞きすると「長生き」「健康」「家族の事」と話されていました。お参りを終えるとおみくじを引きました。大吉のおみくじに「わーー良いことあるね！」、末吉に「丁度いい運勢だね。なんかいいことあるな…」と喜ばれていきました。皆さん「寒かったけれど楽しかった」「初詣に行けて良かった」と話していました。花に戻られると温かい豚汁や甘酒を召し上がり、留守番の方もおみあげのおみくじをもらい楽しんでいました。



施設長コラム

～新型コロナウイルス感染症2類から5類へ～
新年になり新型コロナウイルスが感染症5類に変更となることが正式に政府が決めました。そして5月8日から新たな取り組みが始まることです。世の中として歓迎ムード

がある一方、施設長としてとても不安を持っております。変更後は、入居者様や職員を含め周りの方々への感染が増大する環境があります。それに対応する医療環境が整っているとは思えず、医療現場からも不安の声が多くあります。

特効薬までの良い薬はなく、オミクロン対応のワクチン接種をして免疫が多い1ヶ月後であっても簡単に感染する現実があります。高齢者は死亡リスクが高い事、要介護者が入院した時は嚥下機能低下により食事